

熊本学園大学水俣学研究センター研究資料利用規程

水俣学研究センター

(趣 旨)

第1条 この規程は、水俣学研究センターの所蔵する研究資料（以下、「資料」という）の利用について必要な事項を定める。

(資料の種別)

第2条 研究センターの資料は、一般資料、閲覧制限資料および貴重資料の3種に分類する。閲覧制限資料は個人のプライバシーに関わるもの、および利用に際して破損の恐れのあるものとする。

- 2 一般資料は、資料室に保管する。
- 3 閲覧制限資料および貴重資料は、貴重資料保管室に保管する。

(利 用)

第3条 資料の利用を希望する者は、利用目的を記した利用申請書を提出しなければならない。

- 2 閲覧制限資料および貴重資料の閲覧を希望する者は、あらかじめ研究センター長の許可を得て、指定の場所で閲覧しなければならない。

(開 室)

第4条 資料室の開室時間は、10時から12時30分および13時30分から16時とする。

2 資料室の休室日は次のとおりとする。ただし、研究センター長が特に必要と認めるときは、これを変更し、または臨時に休室することができる。

- (1) 土曜日、日曜日、祝日、および熊本学園大学が定める休日。但し、現地センターは月曜日も休室日とする。
- (2) 水俣学研究センター長が定める曝書のための休日。

(資料の複写)

第5条 資料の複写を希望する者は、利用目的を記した複写申請書を提出しなければならない。

- 2 閲覧制限資料の複写は、利用目的を勘案して制限を設けることがある。

(資料の帯出)

第6条 研究センターの学内研究員は資料を帯出することができる。帯出は10冊以内および3カ月以内を原則とする。

- 2 次の資料は帯出することができない。
 - (1) 参考資料（禁帯出のラベルを貼用したもの）
 - (2) 閲覧制限資料および貴重資料
- 3 帯出中の資料は、第三者に転貸してはならない。
- 4 帯出中の資料については、帯出予約をすることができる。

(資料の返却)

第7条 帯出した資料は、期限内に返却しなければならない。

- 2 水俣学研究センターの学内研究員が資格を失うとき、1年以上出張予定のとき、および曝書が行

われるときには、帯出中の資料を速やかに返却しなければならない。

3 その他、水俣学研究センターが必要と認めるときは、帯出資料の返却を請求することがある。

(禁止条項と罰則)

第 8 条 資料室における談話、喫煙、飲食等の行為は禁止する。

第 9 条 閲覧または帯出中の資料を汚損または紛失したときは、ただちにその旨を届け出、係員の指示に従わなければならない。

2 帯出資料を期日までに返却しないときには、以後の帯出を禁止することがある。

3 前条の禁止条項に違反する者には、退出を命じることがある。

(改 廃)

第10条 この規程の改廃は、水俣学研究センター運営委員会の議を経て水俣学研究センター長が決定するものとする。

附 則

1 この規程は、2010年1月5日から施行する。